

第281回教員会議・第180回研究科委員会 議事要録

日時：平成31年2月13日(水) 13:30～17:20

場所：後援募金記念棟 会議室1-2

議題

教員会議

[審議事項]

1. 学類長

(1) 教員の昇任について

回収資料に基づき、昇任候補者が提案された。環境システムマネジメント専攻長より業績が紹介された。候補者の選定は人事委員会の検討を経ており、4月1日の昇任を予定しているとの説明があった。この提案は了承され、資格調査委員会を発足させることとした。

(2) 教員資格調査委員会の設置について

投票が行なわれ、投票総数40票で、候補者の所属専攻から2名、他専攻から2名が選出された。この4名の他、候補者の属する学系(生命・環境学系)から1名が、当該学系長より推薦された。

(3) 特任教員の任用について

回収資料に基づき説明され、特任教授1名・特任助教2名の任用継続と、特任助教1名の新規任用が決定された。

(4) 再生可能エネルギー寄附講座の特任教員の任用について

回収資料に基づき説明され、特任教授3名・特任准教授1名の任用継続が決定された。

(5) 研究員(プロジェクト)の任用について

回収資料に基づき説明され、研究員(プロジェクト)1名の任用継続が決定された。

(6) 客員教員の任用について

回収資料に基づき説明され、客員教授8名・客員准教授1名の任用継続が決定された。

(7) 客員研究員の任用について

回収資料に基づき説明され、客員研究員16名の任用継続が決定された。

(8) 学内規則等の改正について

資料1に基づき説明された。

学類運営会議内規の改正は、教員所属単位が専攻から分野へと変更になることに対応したものである。各分野で分野長および副分野長を選出し、原則として分野長が学類運営会議に出席する。学類の分野と大学院の分野とが同一の構成であることを、附則に記載した。附則に記載された「学類分野」を「学類で定める分野」と修正し、この改正は了承された。

人事委員会に関する内規と教員選考規程および同規程に関する申合せは、教員所属が分野となることに伴うものである。この改正は了承された。昇任申請書で業績が求められるが、個人業績データベース等で蓄積している情報を用いることにより様式作成の負担を軽減して欲しいとの発言があった。

学術指導取扱規程と秘密情報の管理に関する規程は、全学の規程を制定するため廃止とするとの報告があった。

(9) 学類人事委員会委員の選出について

選挙が行なわれた。投票総数41票で、3名が選出された。任期は平成31年4月

より1年間である。

- (10) 学類運営会議委員(分野長及び副分野長)の選出について
分野毎に選挙が行なわれた。
各分野の投票総数は、数理・情報システム分野11票、物理・メカトロニクス分野7票、物質・エネルギー科学分野9票、生命・環境分野14票で、各分野から2名が選出された。分野長・副分野長を決定して、理工支援室に連絡することとした。
2. 再生可能エネルギー寄附講座運営委員会
(1) 再生可能エネルギー寄附講座の存続期間の延長について
資料2に基づき、活動状況と予算の状況が説明され、当初予定の5年間(2020年度末まで)を2021年度末までと延長することが提案され、了承された。寄附者の意向を尊重することと、学内の手続き等を丁寧に行なうことの見解があった。
3. 教務委員会
(1) 平成30年度非常勤講師計画について
資料3に基づき説明され、了承された。
(2) 2019年度非常勤講師計画について
資料4に基づき説明され、了承された。
(3) 2019年度共生システム理工学類学修案内について
資料5に基づき説明され、了承された。前回の教員会議で説明したのから、各コースでの確認結果を受けて一部の変更がなされている。更に修正を要する箇所が付いた場合は、教務委員長に連絡をするよう要請があった。
4. 財務・施設委員会
(1) 特別・奨励的教育経費(実習・実験経費)について
資料6に基づき説明され、了承された。コース制移行に伴い新設あるいは実施内容が変更される実験科目があるが、別枠で準備予算を用意できないので、開始の前年度の年度末予算残を活用するなどの工夫をしたいとの説明があった。座学でも予算申請が可能かとの質問があり、可能ではあるが全体の予算が限られていることを理解して計画して欲しいとの回答があった。

[報告事項]

1. 教務委員会
(1) 第194回教務協議会について
(審議事項)
 - ・「『公欠』についての申し合わせ」への「心理実習」の認定について
資料7に基づき報告された。
 - ・「公欠」制度及び福島大学単位認定規程(案)について
資料8に基づき報告された。
 - ・全学教務協議会規程(案)について
資料9に基づき報告された。
 - ・再修得制度の廃止について
資料10に基づき報告された。
 - ・その他
 - ・平成31年度授業日程(案)について
資料11に基づき報告された。
- (報告事項)
 - ・スタートアップセミナー担当者説明会について
資料12に基づき報告された。平成31年3月5日に開催される説明会への担当者全員の出席が要請された。

2. 学生生活委員会

- (1) 平成31年度学生関係休講措置(予定)について
資料13に基づき報告された。日程が未定のものは、確定した時点で報告される。

3. 入学試験委員会

- (1) 平成31年度一般入試志願状況について
本学類の志願者数および前期選抜における理科の各科目の選択者数が報告された。

4. 奨学寄附金等の受入れについて

資料が投影され、奨学寄附金1件と共同研究1件が報告された。

5. その他

研究科委員会

[審議事項]

1. 教務委員会

- (1) 2019年度9月修了博士論文最終試験日程について
資料14に基づき説明され、了承された。
- (2) 平成30年度3月修了修士論文題目等の変更について
資料15に基づき、論文取り下げ・タイトル変更・副査の変更について説明され、了承された。
- (3) 2019年度共生システム理工学専攻博士前期課程学修案内について
資料16に基づき説明され、了承された。前回説明のものから、軽微な加筆修正がある。
- (4) 2019年度共生システム理工学専攻博士後期課程学修案内について
資料17に基づき説明され、了承された。
- (5) 2019年度環境放射能学専攻学修案内について
環境放射能研究所より、資料18に基づき、学修案内の作成経緯と内容について説明があり、了承された。

[報告事項]

1. 教務委員会

- (1) 平成30年3月修了博士論文題目の変更について
資料19に基づき報告された。

教育研究評議会

第314回(2月5日開催)報告

[審議事項]

- (1) 平成31年度国立大学法人福島大学年度計画について
年度計画について、報告された。
- (2) 基盤教育履修基準表等の改訂について
改訂内容について報告された。今後、質保証について議論を深める必要がある旨、補足があった。

[報告事項]

- (1) 第3期国立大学法人評価「教育研究組織の評価単位」の意向調査について
各学類等が属する評価単位について報告された。
- (2) 教員評価の試行結果について
試行結果の概要が報告され、意見が求められた。
学類ごとの試行結果まとめは公表されないのかとの質問があり、学類間の比較を目的としていないので公開する予定は無いとの回答があった。現時点では、学類内で

の比較が公正にできることが必要との発言があった。

個人業績データベースがあるのに、再度入力させるのは余計な負担であると、簡略化を求める要望があった。

成果をどこにどう反映すべきか迷う箇所があるので、入力方法の例示が欲しいとの要望があった。平成30年度の業績を集める3月中の作業依頼の際に判り易く説明する予定との回答があった。

評価単価に理解できない部分があり、高得点獲得を目的として本来行なうべき研究教育活動が歪められることのないよう、配慮と評価実施後の検証が必要であるとの発言があった。

以上の意見は、平成31年2月19日の教育研究評議会で戻り報告される。

(3) 平成31年度予算(案)の伝達等について

伝達された予算(案)について、報告された。様々な項目で評価され、配分額が変動していることが説明された。

(4) その他

第5回福島大学環境放射能研究所成果報告会について

平成31年3月14日・15日に報告会が開催されることが報告され、参加が呼びかけられた。

運営会議

第121回(2月12日開催)報告

(1) 2040年度までの大学進学者数推計について

大学進学者の将来予測について報告された。

(2) その他

1月の電気・ガス・水道の使用量について

使用量が報告され、省エネが要請された。